

1 先土器文化と縄文文化

§ 1 旧石器時代

1 人類の誕生と進化

- (1) 最古の人類は猿人 約 400 万年前に出現(500 万年前, 300 万年前の諸説あり)。
南アフリカ共和国で化石人骨を発見。脳容積約 400 ~ 700cc(猿人)
- (2) 原人, 旧人の順に進化し, 4 ~ 3 万年前に新人があらわれる。
原人(ホモ=エレクトス) ジャワ原人(ジャワ島), 北京原人(中国)が知られる。
脳容積約 800 ~ 1400cc
旧人(古代型ホモ=サピエンス) ネアンデルタール人(ドイツ)が知られる。
脳容積約 1400cc
新人(現代型ホモ=サピエンス) クロマニヨン人(フランス)が知られる。
脳容積約 1400 ~ 1800cc
- (3) 地質年代と人類の進化

考古年代	前期旧石器時代				中期旧石器時代	後期旧石器時代	縄文時代		
人類の進化	猿人 アウストラロピテクス		原人 ホモ=エレクトス		旧人 古代型 ホモ=サピエンス	新人 現代型 ホモ=サピエンス	弥生時代		
人類の特徴	直立歩行 すでに道具を使用		打製石器の使用 火の使用 言葉の使用 集団生活		衣服の使用 死者の埋葬	磨製石器の使用 縄文時代以降は土器使用 現生人類(現在の人類)の祖先 動物壁画(アルタミラ, ラスコ)			
気候			氷期	間氷期	氷期	間氷期	氷期		後氷期
地質年代	鮮新世 第三紀	更新世前期	更新世中期			更新世後期			完新世
年代	200 100 70		50	15	4	2	1万年前	6000	2000

2 日本の旧石器時代と旧石器文化

- (1) 日本の旧石器時代 = 約 25 万年以前 ~ 1 万年。地質時代は更新世, 気候は氷河期。
- (2) 旧石器時代の人々の生活 = 土器はまだない(無土器時代)。旧石器(打製石器), 骨角器を使用。岩かげや洞穴, テント風の家に住み, 狩猟, 漁労, 採集生活をしていた。
- (3) 大型の動物がいた = マンモス(北日本), ナウマン象, 大角鹿(南日本)
氷河期は海水面が 100m も低く, 日本は大陸と地続きで, 大陸から動物や人が渡来。
- (4) 旧石器文化 = 土器を使用していないので, 先土器文化, 無土器文化ともいう。
遺跡の発掘によって, 文化の内容が明らかになってきた 日本で最古の文化。
最初に発見された遺跡 = 岩宿遺跡(群馬県)。発見者は相沢忠洋(考古学愛好者)。1946 年に石器片(打製石器)を発見。1949 年の明治大学の調査で 1 万 ~ 1 万 3000 年前の遺跡と確認。
打製石器 握斧(ハンドアックス) 石刃(ブレイド) 尖頭器(ポイント) 細石器(マイクロリス)と進歩
石器は関東ローム層(赤土の火山灰の層)の中から発見。黒曜石の細石剥片
人骨の化石 骨が残りやすい石灰岩の地層から発見。資料的に限られていて詳細は不明。

旧人 明石原人(兵庫) 直良信夫が発見，長谷部言人が名づけたが，現在では疑問の声が強い。

旧人 葛生人(栃木)，新人 浜北人(静岡)，港川人(沖縄)

旧石器文化の遺跡 早水岳(大分)，置人(北海道)，座敷乱木(宮城)

野尻湖遺跡 ナウマン象と大角鹿の化石骨が打製土器とともに出土